

バスケットボール戦評

大会 平成26年度 県民総合体育大会 埼玉県高等学校バスケットボール新人大会
日時 平成 27 年 1 月 17 日 土 曜日 第 1 試合 C コート 時刻 10:00
場所 上尾運動公園体育館 記入者名 中村 敬子

A チーム	得点		得点	B チーム
		⎧ 12 — 17 12 — 13 12 — 28 9 — 19 ⎫		
正智深谷 高校	45		77	山村学園 高校

<戦 評>

昨年12月に行われたウインターカップでは惜しくもベスト8入りを逃したが、主力選手が多く残り来年度は全国大会上位入賞を狙う山村学園と、ここ数年着実に力をつけ山村学園、埼玉栄の上位2校を倒す1番手と目される正智深谷との一戦。

- 1P スタートメンバーは、正智 #4, #5, #6, #8, #11 山村 #4, #5, #6, #7, #9
お互いにマンツーマンディフェンスでスタート。出だし山村は、持ち前の厳しいディフェンスプレッシャーと、スピード豊かな攻撃でペースをつかむ。しかし、正智は徐々にスピードに慣れてくると、#4の積極的なドライブや3Pをきっかけに落ち着きを取り戻す。残り3分で山村のセンター#9がファウル4回となりベンチへ下がると互角の展開となり、12-17 山村が5点リードして終了。
- 2P 立ち上がり正智が連続ゴールで1点差とし競り合いとなる。正智のセンター#8がファウル3回でベンチに下がりピンチかと思われたが、交代した#15が意地を見せ果敢にゴールへ向かい相手のファウルを誘いフリースローで得点。対する山村も#6の1対1や#4のスチールからの得点などで応戦し、24-30 山村6点リードで、前半終了。
- 3P 山村はファウル4回の#9に代わり、#8がスタートメンバーで出場。小さくなった分機動力を生かし正智のセンターに対して早いタイミングでダブルチームを仕掛けてミスを誘い、ゲームの流れを引き寄せる。前半は今ひとつ調子の上がらなかった山村#7がリバウンド、ミドルシュートに大活躍。残り5:25 で30-41 山村のリードが11点となったところで、正智はたまらずタイムアウト。しかし#4の1対1に頼る正智に対して、一度流れをつかんだ山村の勢いは止まらず一気に突き放しにかかる。36-58 山村が大きくリードを広げ、最終ピリオドへ。
- 4P 山村の勢いはとどまることなく、さらにリードを広げていく。正智は、オフェンスのリズムを完全に失い攻め手がなくなる。最後は山村がベンチメンバーに変える余裕の展開となり、45-77 で山村が決勝リーグ初戦をものにした。
前半正智はディフェンスとリバウンドでよく粘り善戦したが、後半の山村の爆発力は見事であった。